



Java Desktop System Release 2 問 題の解決方法

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 817-6577-10
2004 年 4 月

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2 は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DiComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されず、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: *Java Desktop System Release 2 Troubleshooting Guide*

Part No: 817-5180-10

Revision A



040427@8606



目次

はじめに 7

1 Java Desktop System Release 2 の既知の問題	11
基本的な使用方法	11
カーネルモジュールのコンパイル中にバージョン不整合が発生する	11
/net からマウントできない	12
インストールが失敗する	12
画面表示の問題	12
RPM の CD が排出されない	13
バックスペースが間違って挿入される	13
ログイン時にパネルがクラッシュする	13
ユーザー環境設定の一部に互換性がない	14
インストール更新後に起動スプラッシュ画面が表示されない	14
インストールの更新後、ファイルシステム RPM のインストールに失敗する	14
インストールの更新後、ウィンドウにボックスが付く	15
一般的なデスクトップの問題	16
ファイルが開かない	16
ファイルマネージャがクラッシュする	16
Blueprint テーマが正しく表示されない	17
Ghostscript から空のページが印刷される	17
フロッピーディスクを取り出せない	17
CD-ROM を取り出せない	18
マウスホイールが動作しない	18
ネットワークの問題	18
PPP 接続が機能しない	18

	モデムダイアルアップが機能しない	19
	ネットワークプレースが表示されない	19
2	アプリケーションの既知の問題	21
	Evolution	21
	Evolution で vFolders が機能しない	21
	Evolution がクラッシュする	22
	Evolution インストールがハングする	22
	gedit テキストエディタ	22
	マルチバイト文字を入力できない	22
	Macromedia Flash Player	23
	テキストが表示されない	23
	Mozilla	23
	Mozilla がプロファイルを使用できない	23
	RPM ハイパーリンク の RPM をクリックすると Mozilla がクラッシュする	24
	Mozilla が gdict と接続できない	24
	Mozilla が内部のメールサーバーに接続できない	24
	テキストを貼り付けると Mozilla がクラッシュする	24
	サウンドレコーダ	25
	スライドバーおよびカウンタが動作しない	25
	サウンドファイルを 1 回しか再生できない	25
3	各国語化の問題	27
	すべてのロケール	27
	ATOK X AUX が機能しない	27
	ATOK X: 文字パレットから入力できない	30
	ATOK X: Mozilla のツール上で未確定文字が消える	30
	ATOK X: Java のテキスト領域で一度に確定できる文字数に制限がある	30
	ATOK X: JIS X 0212/0213 の文字やベンダー定義文字が入力できない	31
	PDF 印刷が機能しない	31
	従来のロケールがログイン画面に表示されない	32
	ローカルハードディスク上の Windows パーティションの日本語ファイル名とディレクトリ名を表示できない	32
	修飾キーが正しく機能しない	33
	文字列が正しくレンダリングされない	34
	gome-terminal 上で記号文字が重なって表示される	34
	中国語ロケール	35

文字がボックスで印刷される	35
HK ロケールで YaST2 がローカライズされていない	35
日本語ロケール	36
Evolution の添付ファイルを読むことができない	36
Evolution でメール作成後、件名が正しく表示されない	36
ベンダー定義文字に関する制限事項	36
JIS X 0212/0213 文字セットに関する制限事項	37

索引	39
----	----

はじめに

このマニュアルでは、Sun Java™ Desktop System Release 2 に関連する問題の解決方法について説明します。

関連マニュアル

次に、このマニュアルに関連するマニュアルを示します。

- 『Java Desktop System Release 2 インストールガイド』
- 『Java Desktop System Release 2 クイックスタート・ユーザーズガイド』
- 『Java Desktop System Release 2 問題の解決方法』
- 『Java System Update Service ユーザーズガイド』

参考マニュアル

次のマニュアルは、このマニュアルの参考になるマニュアルを示します。

- 『GNOME 2.2 Desktop Accessibility Guide』
- 『GNOME 2.2 システム管理 (Linux 版)』
- 『GNOME 2.2 ユーザーズガイド (Linux 版)』
- 『StarSuite 7 Office Suite 管理ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite 基本ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite インストールの手引き』
- 『StarSuite 7 Office Suite ユーザーズガイド』
- 『Ximian Evolution 1.4 ユーザーズガイド Sun Microsystems Edition』

Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、<http://docs.sun.com> です。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`</code>

コード例は次のように表示されます。

■ C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

第 1 章

Java Desktop System Release 2 の既知の問題

この章では、Java Desktop System Release 2 の既知の問題について説明します。提示できる場合には、解決方法も示します。

- 11 ページの「基本的な使用方法」
- 16 ページの「一般的なデスクトップの問題」
- 18 ページの「ネットワークの問題」

基本的な使用方法

カーネルモジュールのコンパイル中にバージョン不整合が発生する

問題	Pentium 4 などのハイパースレディング対応のプロセッサを使用している場合は、カーネルモジュールのコンパイル時にバージョン不整合のエラーが発生することがあります。
解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 次のファイルを編集します。 /usr/src/linux-2.4.19.SuSE/linux/version.h2. 次の行、 #define UTS_RELEASE "2.4.19-4GB" を #define UTS_RELEASE "2.4.19-64GB-SMP" に変更します。

/net からマウントできない

問題	バグ ID: 4908595 /net からのマウントが機能しません。この問題は、autofs4ユーティリティが間違ったカーネルモジュールをデフォルトで読み込むために起こります。
解決方法	システムのインストール時に、次の作業を実行します。 1. 次のファイルをテキストエディタで開きます。 /etc/modules.conf 2. 次の行のコメントを解除します。 # alias autofs autoofs4

インストールが失敗する

問題	いくつかの Red Hat Package Managers (RPM) は、システムの Linux リリース番号を認識しないことがあります。これらの RPM ファイルをシステムにインストールしようとすると、インストールに失敗する可能性があります。
解決方法	RPM ファイルをシステムに正常にインストールするためには、特定の Linux のバージョンが /etc/SuSE-release ファイルに記載されている必要があります。 Linux のバージョンを RPM が認識するバージョンに変更します。たとえば、SuSE Linux 8.1 (i386) Version=8.1 にしてください。

画面表示の問題

問題	インストールプロセスによって設定される画面の解像度は、使用しているシステムに適していない可能性があります。解像度が適切でないと、画面表示に問題が発生する可能性があります。画面の解像度は、システム設定中に、使用しているシステムのハードウェアに適した値に再設定することができます。
----	--

解決方法	<p>最初の「ようこそ」画面が現れたあと、インストール画面が表示されます。次の作業を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 即座に F2 キーを押して、希望の解像度が選択されていることを確認します。 2. 希望する解像度を選んで、Enter キーを押します。ディスプレイハードウェアの能力以上の解像度を選んだ場合、インストールの間、画面の下の部分が表示されなくなります。このような場合、インストールを再開して、低い解像度を選択します。 3. 矢印キーを使用して「インストール」を選択し、Enter キーを押します。 <p>画面解像度ダイアログで選択できる解像度は、その値が YaST で有効に設定されているものだけです。</p>
------	--

RPM の CD が排出されない

問題	RPM を CD からマルチユーザーモードでインストールすると、システムは CD を自動的に排出しません。
解決方法	<code>eject cdrom</code> コマンドを入力して、CD を手動で排出します。

バックスペースが間違って挿入される

問題	Sun Ray™ クライアントまたは Solaris マシンから Java Desktop System セッションにログインした場合、キーボードで L キーを押すたびに、バックスペースが挿入されます。
解決方法	<p>次の解決方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Java Desktop System にログインした後で、<code>xmodmap</code> コマンドを使用して L キーを再定義します。 ■ Java Desktop System に root としてログインし、<code>/etc/X11/Xmodmap</code> ファイルを削除します。

ログイン時にパネルがクラッシュする

問題	システムを再起動したあとで Java Desktop System にログインすると、パネルがクラッシュすることがあります。
解決方法	Panel アプリケーションが再起動するまで待ってください。

ユーザー環境設定の一部に互換性がない

問題	GNOME 2.0 デスクトップのホームアカウントで設定した環境設定の一部は、Java Desktop System 上の GNOME 2.2 デスクトップと互換性がないことがあります。
解決方法	環境設定を設定し直してください。

インストール更新後に起動スプラッシュ画面が表示されない

問題	バグ ID: 5026577 インストールを実行して以前のバージョンの Java Desktop System を更新したあと、起動スプラッシュ画面が表示されません。この問題は、 <code>/usr/share/splash/themes</code> ディレクトリにリンクがないために発生します。
解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. <code>root</code> ユーザでログインします。2. 次のコマンドを実行します: <code>cd /usr/share/splash/theme</code>3. 次のコマンドを実行します: <code>execute ln -s Sun current</code>4. 次のコマンドを実行します: <code>execute mkinitrd</code>

インストールの更新後、ファイルシステム RPM のインストールに失敗する

問題	バグ ID: 5028130 インストールを実行して以前のバージョンの Java Desktop System を更新したあと、ファイルシステム RPM のインストールに失敗します。 この問題は、Nautilus ファイルマネージャでデフォルトのオートマウントを有効にした状態で、CD から YaST2 のシステム更新を実行した場合に発生します。この問題は、CD が <code>/media/cdrom</code> でマウントされた状態で、YaST2 のシステム NFS 更新を実行した場合にも発生します。 この問題は、CD からの起動が完了した後に、ネットワーク更新を実行した場合には発生しません。
----	---

解決方法	<p>YaST2 のシステム更新インストールを開始する前に、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システムからすべての CD-ROM を削除します。 2. 「起動」 → 「拡張設定」 → 「CD デバイスオプション」を選択します。 3. 「挿入された CD をマウントする」オプションを選択解除して、「閉じる」を選択します。 4. 通常どおりにシステムインストールの更新を続けます。
------	--

インストールの更新後、ウィンドウにボックスが付く

問題	<p>バグ ID: 5017762</p> <p>インストールを行なって Java Desktop System の以前のバージョンを更新したあと、入力方式切り替え器 アプレットがデフォルトパネルに追加されません。代わりに、ウィンドウにはボックスが追加されています。</p> <p>Java Desktop System Release 2 のデフォルトのパネル設定は、以前のリリースの Java Desktop System とは異なります。以前のバージョンの Java Desktop System にログインすると、この問題が発生する可能性があります。</p>
解決方法	<p>パネルを右クリックし、「パネルに追加」 → 「ユーティリティ」 → 「入力方式切り替え器」を選択します。</p>

一般的なデスクトップの問題

ファイルが開かない

問題	<p>NFS でマウントされたディレクトリからドキュメントを開こうとしたとき、そのドキュメントを所有するアプリケーションが URL として渡されたファイル名の引数を処理できない場合、ファイルマネージャはエラーを表示します。</p> <p>たとえば、StarSuite™、OpenOffice、vi、acroread、および ggv などのアプリケーションは URL を処理できないため、これらのアプリケーションで NFS ファイルを開こうとするとファイルマネージャはエラーを表示します。</p> <p>この問題は、Samba (SMB) でマウントされたディレクトリにあるファイルを開く場合にも発生します。</p>
解決方法	<p>対象のファイルをローカルディレクトリにコピーします。つまり、NFS または Samba ディレクトリではないディレクトリにコピーするということです。</p>

ファイルマネージャがクラッシュする

問題	<p>バグ ID: 5029196</p> <p>ディレクトリ構造が 290 プレーンラテン文字を超えると、Nautilus ファイルマネージャがクラッシュします。</p>
解決方法	<p>Nautilus ファイルマネージャを使用してディレクトリ構造にアクセスしたい場合は、290 プレーンラテン文字を超えるディレクトリ構造を作成しないでください。Terminal アプリケーションを使用してファイルシステムを参照する場合は、ディレクトリ構造の文字長に制限はありません。</p>

Blueprint テーマが正しく表示されない

問題	Blueprint Beta のテーマは、評価用のみです。Blueprint Beta のテーマは通常的环境で使用しないでください。このテーマには既知のバグがあり、サポートされていません。
解決方法	Blueprint Beta のテーマを評価する場合は、「View Apply Theme」→「Blueprint Beta」を選択します。

Ghostscript から空のページが印刷される

問題	バグ ID: 4984611 Ghostscript 経由で CUPS が使用されると、空のページが印刷されます。
解決方法	UPS アカウンティング情報は通常は必要でないため、 <code>cupsonomatic</code> フィルタでアカウンティング機能を無効にできます。次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. <code>root</code> ユーザでログインします。2. 次のファイルを開きます。 <code>/usr/lib/cups/filter/cupsonomatic</code>3. 次の行を変更します。 <code>my \$ps_accounting = 1;</code> 変更後: <code>my \$ps_accounting = 0;</code> <code>/etc/foomatic/filter.conf</code> を使用する場合は、その場所で <code>ps_accounting</code> を無効にします。

フロッピーディスクを取り出せない

問題	バグ ID: 4948512 デスクトップ上のフロッピーディスクアイコンを使用して、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出すことができません。 <code>root</code> ユーザのみがフロッピーディスクを取り出せるというエラーメッセージが表示されます。この問題は、あるユーザによってフロッピーディスクアイコンがデスクトップにマウントされている場合に、別のユーザがログインしてそのアイコンを使用してフロッピーディスクを取り出そうとした場合に発生します。
解決方法	<code>fd0</code> の <code>/etc/fstab</code> ファイルで、 <code>user</code> を <code>users</code> に変更します。

CD-ROM を取り出せない

問題	バグ ID: 4966284 CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができません。 この問題は、fam デーモンが CD-ROM デバイスを保持しているため、ファイルマネージャがそのデバイスをアンマウントして CD-ROM を排出できないために発生します。
解決方法	CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. root としてログインします。2. 端末ウィンドウを開きます。3. 次のコマンドを実行します: <code>pkill fam</code>4. 次のコマンドを実行します: <code>eject cdrom</code>

マウスホイールが動作しない

問題	バグ ID: 4948755 Java アプリケーションを実行していると、マウスホイールが動作しません。
解決方法	システムのインストール時に、次の作業を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 次のファイルをテキストエディタで開きます: <code>XF86Config</code>2. 次の行を挿入します: <code>Option "ZAxisMapping" "4 5"</code>

ネットワークの問題

PPP 接続が機能しない

問題	ダイヤルアップ PPP 接続ではネットワークに接続できません。
解決方法	ネットワーク接続にモデムを使用しており、ダイヤルアップ PPP 接続を必要とする場合は、Linux PPP ダイアラーコマンドユーティリティの <code>wvdial</code> を使用してください。

モデムダイアルアップが機能しない

問題	バグ ID: 4955086 root 以外のユーザでは、モデムダイアルアップが機能しません。この問題は、pppd ユーティリティの setuid ビットが設定されていないために発生します。wvdial の setuid ビットも設定されていません。
解決方法	次の作業を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. root ユーザでログインします。2. 次のコマンドを実行します: <code>chmod +s /usr/sbin/pppd</code>

ネットワークプレースが表示されない

問題	新しいネットワークプレースが「ネットワークプレイス」ウィンドウに表示されません。
解決方法	ログアウトして、もう一度ログインしてください。

第 2 章

アプリケーションの既知の問題

この章では、Java Desktop System Release 2 の特定のアプリケーションに関する既知の問題について説明します。提示できる場合には、解決方法も示します。

- 21 ページの「Evolution」
- 22 ページの「gedit テキストエディタ」
- 23 ページの「Macromedia Flash Player」
- 23 ページの「Mozilla」
- 25 ページの「サウンドレコーダ」

Evolution

Evolution で vFolders が機能しない

問題	バグ ID: 5018480 Evolution で vFolders が機能しません。
解決方法	新しい vFolders を作成したあとは、Evolution を再起動する必要があります。

Evolution がクラッシュする

問題	バグ ID: 5029522 「連絡先」の編集時に無効な文字シーケンスを「Web address」フィールドに追加すると Evolution がクラッシュすることがあります。
解決方法	マルチバイト文字やスペースを含まない正しい URL のみを使用します。

Evolution インストールがハングする

問題	バグ ID: 5030708 Evolution のインストールが 95% 終了したところで停止したかのように見えます。Evolution RPM のインストールは最長 8 分かかります。これは Evolution のドキュメントを Scrollkeeper に登録するために必要な時間です。
解決方法	インストール終了まで待ちます。

gedit テキストエディタ

マルチバイト文字を入力できない

問題	バグ ID: 4937266 gedit テキストエディタで「自動インデント」機能を有効にすると、マルチバイト文字を正しく入力できません。
解決方法	「自動インデント」機能を無効にします。次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 「編集」→「環境設定」を選択します。2. 「カテゴリ」リストで「エディタ」を選択し、「自動インデント」を選択します。3. 「自動インデントを有効にする」オプションを選択解除します。

Macromedia Flash Player

テキストが表示されない

問題	発色数が 256 色および 8 ビットに設定されているとき、テキストは Macromedia Flash Player 6 では表示させません。
解決方法	色数を 16 ビット以上に設定します。

Mozilla

Mozilla がプロファイルを使用できない

問題	Mozilla の実行中にシステムが予期せずシャットダウンした場合、プロファイルロックファイルをクリアできません。システムを再起動して、Mozilla を起動したあとに、次のようなエラーメッセージを示すダイアログが表示されます。 <code>Mozilla cannot use the profile because it is in use. Please choose another profile or create a new one.</code>
解決方法	次のファイルを削除します。 <code>\$HOME/.mozilla/<profilename>/<random>/lock</code>

RPM ハイパーリンク の RPM をクリックすると Mozilla がクラッシュする

問題	Linux RPM パッケージファイルへのハイパーリンクをクリックすると Mozilla がクラッシュします。 Mozilla はすべての .rpm ファイルを RealPlayer メディアとして登録しています。Linux パッケージを直接クリックすると、RealPlayer プラグインは無効な .rpm ファイルを正しく処理できないために、Mozilla がクラッシュします。
解決方法	.rpmリンクを右クリックして、メニューから「Save Link Target As...」を選択します。

Mozilla が gdict と接続できない

問題	gdict サーバーへは、ファイアウォールを越えて接続することはできません。
解決方法	ファイアウォールでポート 2628 を許可する必要があります。

Mozilla が内部のメールサーバーに接続できない

問題	Mozilla メールは socks サーバー経由では内部のメールサーバーに接続できません。
解決方法	Mozilla でアプリケーションのプロキシ設定を使用する場合、「起動」→「設定」→「インターネット」設定で「socks host」を設定しないでください。

テキストを貼り付けると Mozilla がクラッシュする

問題	ほかのアプリケーションから Mozilla ウィンドウにテキストを貼り付けようとするとき、Mozilla がクラッシュします。
----	---

解決方法 ほかのアプリケーションから Mozilla にテキストをコピーする場合、正しくテキストを貼り付けるには、Ctrl + V キーを一度押して、キーを即座に放します。

Ctrl + V キーを押下してテキストを貼り付けたあと、すぐにキーをはなしてください。そうでなければ、Mozilla はクラッシュします。

サウンドレコーダ

スライダーおよびカウンタが動作しない

問題 新しい .wav ファイルを録音するとき、スライダーとタイムカウンタが動作しません。

解決方法 録音が行われていることを示す表示もありません。

サウンドファイルを 1 回しか再生できない

問題 サウンドレコーダの同じインスタンスでは、.wav ファイルを複数回再生できません。

解決方法 回避策としては、サウンドレコーダの別のインスタンスを開いて、.wav ファイルを再生してください。

第 3 章

各国語化の問題

この章では、Java Desktop System Update 1 における各国語化の問題について説明します。提示できる場合には、解決方法も示します。

- 27 ページの「すべてのロケール」
- 35 ページの「中国語ロケール」
- 36 ページの「日本語ロケール」

すべてのロケール

ATOK X AUX が機能しない

問題

このリリースでは、ATOK X 入力方式の AUX が機能しません。この問題は、次の ATOK X AUX 機能に影響します。

- AtokPaletteAux
- SystemLineAux
- CharPaletteAux
- PropertyAux
- CustomizerAux
- RegWordAux
- DicUTAux

解決方法

ATOK X AUX 機能を使用しないでください。日本語ロケールでのみ ATOK X AUX 機能を有効にしたい場合は、次の手順を実行して RPM を置き換えます。この変更を実装した場合、ATOK X 以外のすべての入力方式は、すべての言語環境で使用できなくなります。

1. ログイン画面メニューで「端末の復旧」を選択し、root ユーザーでログインします。
2. 次のコマンドを実行して IIIM および ATOK X デーモンを停止します。

```
# sh /etc/init.d/atokx stop
# sh /etc/init.d/IIim stop
```

3. 次の RPM を削除します。

- iiimf-csconv
- iiimf-protocol-lib
- iiimf-protocol-lib-devel
- iiimf-client-lib
- iiimf-client-lib-devel
- iiimf-x
- iiimf-gtk
- iiimf-server
- iiimf-le-Asian-koKR-sun
- iiimf-le-Asian-thTH-sun
- iiimf-le-Asian-zhCN-sun
- iiimf-le-Asian-zhHK-sun
- iiimf-le-Asian-zhTW-sun
- iiimf-le-unit
- iiimf-docs

例:

```
#rpm -e `rpm -q -a | grep iiimf`
```

4. /usr/lib/im/locale/ja/atokserver/rpm にある次の RPM をインストールします。

```
iiimf-1.2-3JDS4.i586.rpm
iiimf_conv-1-2JDS4.i586.rpm
```

例:

```
# rpm -ihv
/usr/lib/im/locale/ja/atokserver/rpm/*.rpm
```

5. 次のコマンドを実行してシンボリックリンクを atok12aux.so に変更します。

- a. # cd /usr/lib/im/locale/ja/atokserver
- b. # rm atok12aux.so
- c. # ln -s atok12aux-iiimf10.so atok12aux.so

6. 次のコマンドを実行して IIIM および ATOK X デーモンを起動するか、システムを再起動します。

- a. # sh /etc/init.d/IIim start
- b. # sh /etc/init.d/atokx start

元の設定に戻すには、次の手順を実行して RPM を置き換えます。

1. ログイン画面メニューで「端末の復旧」を選択し、root ユーザーでログインします。
2. 次のコマンドを実行して IIIM および ATOK X デーモンを停止します。

```
# sh /etc/init.d/atokx stop
# sh /etc/init.d/IIim stop
```

次の RPM を削除します: `iiimf`、`iiimf_conv`
例: `# rpm -e `rpm -q -a | grep iiimf``
3. 次の RPM をインストールメディアからインストールします。
 - `iiimf-csconv`
 - `iiimf-protocol-lib`
 - `iiimf-protocol-lib-devel`
 - `iiimf-client-lib`
 - `iiimf-client-lib-devel`
 - `iiimf-x`
 - `iiimf-gtk`
 - `iiimf-server`
 - `iiimf-le-Asian-koKR-sun`
 - `iiimf-le-Asian-thTH-sun`
 - `iiimf-le-Asian-zhCN-sun`
 - `iiimf-le-Asian-zhHK-sun`
 - `iiimf-le-Asian-zhTW-sun`
 - `iiimf-le-unit`
 - `iiimf-docs`例:
 - a. コマンド行から次のコマンドを入力します: `yast2`
 - b. 「ソフトウェアのインストール/削除」を選択します。UI 確認
 - c. 「フィルタ」ドロップダウンリストから「検索」を選択します。
 - d. 次の文字列を「検索」フィールドに入力します。 `iiimf`
 - e. 「検索」をクリックします。
 - f. リストから `iiimf` パッケージを選択し、「了解」をクリックします。
4. 次のコマンドを実行してシンボリックリンクを `atok12aux.so` に変更します。
 - a. `# cd /usr/lib/im/locale/ja/atokserver`
 - b. `# rm atok12aux.so`
 - c. `# ln -s atok12aux-iiimf11.so atok12aux.so`
5. 次のコマンドを実行して IIIM および ATOK X デーモンを起動するか、システムを再起動します。
 - a. `# sh /etc/init.d/IIim start`
 - b. `# sh /etc/init.d/atokx start`

ATOK X: 文字パレットから入力できない

問題	前述の「ATOK X AUX 機能が動作しない」に記載されている方法で AUX を使えるようにした場合、アプリケーションによっては文字パレットで確定ボタンを押しただけでは文字を入力できないことがあります。
解決方法	確定ボタンを押した後、アプリケーションにマウスのフォーカスを移動すると、文字を入力できます。

ATOK X: Mozilla のツール上で未確定文字が消える

問題	前述の「ATOK X AUX 機能が動作しない」に記載されている方法で AUX を使えるようにした場合、mozilla のツール (Navigator や Composer など) 上で、テキストの一部を変換候補ウィンドウを使用して確定すると、編集画面上で残りの未確定文字が消えてしまいます。
解決方法	未確定文字は、見た目上消えているだけなので、空白キーなどで再び表示させたり、Enter キーで確定することができます。

ATOK X: Java のテキスト領域で一度に確定できる文字数に制限がある

問題	バグ ID: 5023928 ロケール、文字の種類、Java のテキスト領域の種類により数は異なりますが、一度に確定できる文字の数は、およそ 20 文字から 40 文字です。
解決方法	一度に確定しないで、何度かに分けて確定してください。

ATOK X: JIS X 0212/0213 の文字やベンダー定義文字が入力できない

問題	ATOK X は JIS X 0212/0213 の文字やベンダー定義文字の入力をサポートしていません。
解決方法	「起動」⇒「アプリケーション」⇒「アクセサリ」⇒「文字マップ」などを使用して入力してください。

PDF 印刷が機能しない

問題	<p>バグ ID: 4928658</p> <p>この問題は、次のロケールで発生します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ アジア言語ロケール■ ポーランド語ロケール■ ロシア語ロケール <p>GNOME アプリケーションを使用して、マルチバイト文字を含む PDF 文書を作成することはできません。この問題は、libgnomeprint ライブラリを使用する Gedit およびその他の GNOME アプリケーションに影響します。</p>
解決方法	ファイルをポストスクリプトファイルに出力し、その後 ps2pdf ユーティリティを使用して、ポストスクリプトファイルを PDF ファイルに変換します。

従来のロケールがログイン画面に表示されない

問題	<p>バグ ID: 4884887</p> <p>各国語化されたいいくつかのロケールはログイン画面から削除されました。 ログイン画面に表示されるのは、次の言語のみです。</p> <ul style="list-style-type: none">■ フランス語■ ドイツ語■ イタリア語■ 日本語■ 韓国語■ スペイン語■ スウェーデン語■ 繁体字中国語■ 簡体字中国語
解決方法	<p>従来のロケールをログイン画面に表示する場合、次のファイルにあるロケールのエントリに付いているコメントを外すようにシステム管理者にご連絡ください。 <code>/etc/X11/gdm/locale.alias</code></p> <p>その後、システム管理者はシステムを再起動する必要があります。その後、従来のロケールがログイン画面に表示されます。</p>

ローカルハードディスク上の Windows パーティションの日本語ファイル名とディレクトリ名を表示できない

問題	<p>バグ ID: 4961948</p> <p>この問題は、すべてのロケールで発生します。</p> <p>Windows パーティションがハードディスクに存在する場合、インストール中にインストーラによってパーティションが自動的にマウントされ、<code>/etc/fstab</code> ファイル内の <code>iocharset</code> オプションまたは <code>nls</code> オプションが <code>iso-8859-1</code> に設定されます。この値は、<code>iocharset</code> オプションまたは <code>nls</code> オプションの正しい値ではありません。その結果、システムはローカライズしたファイル名またはディレクトリ名を表示できなくなります。</p>
----	--

解決方法

現在のロケール用に、`/etc/fstab` ファイル内の `iocharset` オプションまたは `nls` オプションに正しい値を割り当てる必要があります。次の表の値を使用します。

`iocharset` オプションおよび `nls` オプションの `/etc/fstab` ファイル内容の例

- `/dev/sda1 /windows/C ntfs
ro,users,gid=users,umask=0002,nls=utf8 0 0`
- `/dev/sda2 /windows/C vfat
users,gid=users,umask=0002,iocharset=utf8,codepage=932`

ロケール	ntfs	vfat
ja_JP.UTF-8	<code>nls=utf8</code>	<code>iocharset=utf8,codepage=932</code>
ko_KR.UTF-8	<code>nls=utf8</code>	<code>iocharset=utf8,codepage=949</code>
zh_CN.gb18030	<code>nls=gb2312*</code>	<code>iocharset=gb2312,codepage=936*</code>
zh_TW.big5	<code>nls=big5*</code>	<code>iocharset=big5,codepage=950*</code>
zh_HK.big5hkscs	<code>nls=big5*</code>	<code>iocharset=big5,codepage=950*</code>
en_US.UTF-8	<code>nls=utf8</code>	<code>iocharset=utf8</code>
de_DE.UTF-8		
es_ES.UTF-8		
fr_FR.UTF-8		
it_IT.UTF-8		
sv_SE.UTF-8		

*中国語 UTF-8 ロケールを使用する場合は、`big5` および `gb2312` を `utf8` に変更してください。

修飾キーが正しく機能しない

問題

バグ ID: 4996542

インターネット入力方式またはイントラネット入力方式を使用する場合、`Alt` キーおよび `Shift` キーが修飾キーとして機能しないことがあります。次のような既知の問題があります。

- `Shift` キー + 矢印キーの組み合わせを使用して、テキストを選択することはできません。代わりにラテン文字が挿入されます。

中国語ロケール

文字がボックスで印刷される

問題

バグ ID: 4977300

この問題は、次のロケールで発生します。

- 中国語ロケール
- 韓国語ロケール

Mozilla からポストスクリプトファイルに出力した文字は、ボックスで印刷されます。これは、ポストスクリプトプリンタが中国語または韓国語フォントを保持していないためです。ファイルを印刷する前に、CUPS は Mozilla ポストスクリプトフォントを変換する必要があります。

解決方法

1. 「起動」 → 「設定」 → 「プリンタ」を選択します。
2. PostScript プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」メニューを選択します。
3. 「詳細」タブを開きます。
4. 「Ghostscript pre-filtering」を「Convert to PS level 1」に設定します。

HK ロケールで YaST2 がローカライズされていない

問題

バグ ID: 5005385

この問題は、次のロケールで発生します。

- zh_HK.big5hkscs
- zh_HK.UTF-8

問題が発生しているロケールにログインすると、YaST2 アプリケーションがローカライズされていません。

解決方法

zh_HK ロケールのための YaST2 メッセージは、zh_TW ロケール用のメッセージと同じです。次の手順を実行して、zh_HK ロケールから zh_TW ロケールへのシンボリックリンクを作成します。

1. `cd /usr/share/YaST2/locale/`
2. `ln -s zh_TW zh_HK`

日本語ロケール

Evolution の添付ファイルを読むことができない

問題	<p>バグ ID: 5021121</p> <p>この問題は、次のロケールで発生します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ アジア言語ロケール■ 日本語ロケール <p>Evolution を使用して電子メールを作成し、UTF-8 以外でエンコーディングされたファイルを添付した場合、メーラーはファイルに正しいエンコーディングを適用することができません。メールの受信者は、添付物を正しく読むことができません。</p>
解決方法	<p>添付されたものをファイルとして保存し、そのファイルが正しくエンコーディングされていることを確認します。</p>

Evolution でメール作成後、件名が正しく表示されない

問題	<p>バグ ID: 5032895</p> <p>Evolution でメール作成を使用するときに、「件名」欄に ASCII と ASCII 以外の文字を組み合わせて文字を入力すると、送信後のメールの件名が正しく表示されない場合があります。</p>
解決方法	<p>ASCII 以外の文字だけ、または、ASCII 文字だけを使用して件名を入力するか、別の文字列に置き換えてください。この問題は、将来のリリースで修正される予定です。</p>

ベンダー定義文字に関する制限事項

問題	<p>samba を使ってマウントした日本語ファイルまたはフォルダ名に(株)などのベンダー定義文字が含まれていると、文字が化けて表示されます。また、ja_JPeucJP ロケールではベンダー定義文字が表示できません。</p>
----	--

解決方法 本リリースに含まれている `samba` や `glibc` のバージョンが古い
ためです。この問題は、将来のリリースで解決される予定です。

JIS X 0212/0213 文字セットに関する制限事項

問題 `xterm` などの古いタイプの X アプリケーションや、`ja_JP.eucJP` ロ
ケールで起動した Java の AWT では、JIS X 0212/0213 の文字を表
示できません。

解決方法 修正の予定はありません。

索引

E

Evolution
vFolders, 21
インストールのハング, 22
クラッシュ, 22
evolution メール, 36

G

gdict, Mozilla と接続できない, 24
gedit テキストエディタ, 22

I

iocharset オプション、設定, 32

M

Macromedia Flash Player, テキスト表示の失敗, 23
Mozilla
gdict と接続できない, 24
アプリケーションクラッシュエラー, 23
テキスト貼り付けクラッシュエラー, 24
の問題, 23
ハイパーリンクでクラッシュする, 24
メールサーバーに接続できない, 24

N

Nautilus, クラッシュ, 16
/net からのマウント, 12
NFS, 16

P

PDF 印刷, 31
PPP 接続, 機能しない, 18

R

Red Hat Managers, の問題, 12
RPM, 「Red Hat Managers」を参照
RPM の CD, 排出されない, 13

S

Sound Recorder, の問題, 25

W

windows, ボックスが付く, 15

Y

YaST2、ローカライズされない, 35

い

- インストールの失敗, 12
- インストールの問題
 - RPM の CD が排出されない, 13
 - インストールが失敗する, 12

か

- カーネル、間違い, 12
- カーネルモジュール, コンパイル, 11
- 各国語化の問題, 27
 - ログイン画面に表示されないロケール, 32
- 画面表示の問題, 12
- 空のページ、印刷の問題, 17
- 環境設定, 互換性がない, 14

き

- 起動スプラッシュ画面
 - 現れない, 14

さ

- サウンドファイル, 再生できない, 25

し

- 修飾キー, 33

ち

- 中国語ロケール, 35

て

- テーマ, Blueprint, 17

に

- 入力方式の切替え, インストールされない, 15

ね

- ネットワークの問題点, 18
- ネットワークプレース, 表示されない, 19

は

- バックスペースの挿入, 13

ふ

- ファイル, 開かない, 16
- ファイルマネージャ, クラッシュ, 16
- フロッピーディスク
 - 取り出せない, 17, 18

ま

- マウスホイール, 18
- マルチバイト文字, gedit の問題, 22

め

- メールサーバー, Mozilla への接続, 24
- メールの添付物, 36

も

- 文字列、正しくレンダリングされない, 34
- モデムダイアルアップ, 19

ろ

- ローカライズしたファイル名、表示されない, 32
- ログイン時のパネルのクラッシュ, 13
- ログインの問題
 - パネルがクラッシュする, 13
 - 間違ったバックスペース, 13